

財務諸表

(令和7年度)

- 資金収支計算書
- 事業活動収支計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 監事監査報告書
- 事業報告書

資 金 収 支 計 算 書

令和 7年 4月 1日 から
令和 8年 3月31日 まで

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	944,872,498	945,092,332	△ 219,834
手数料収入	18,843,690	19,714,543	△ 870,853
寄付金収入	2,350,000	111,000	2,239,000
補助金収入	675,893,000	677,362,212	△ 1,469,212
資産売却収入	205,000,000	169,050,568	35,949,432
付随事業・収益事業収入	19,740,000	23,594,427	△ 3,854,427
受取利息・配当金収入	6,820,000	19,564,770	△ 12,744,770
雑収入	33,000,000	41,525,605	△ 8,525,605
借入金収入	206,000,000	206,000,000	0
前受金収入	588,259,504	638,889,030	△ 50,629,526
その他の収入	358,100,000	324,396,443	33,703,557
資金収入調整勘定	0	△ 743,353,496	743,353,496
前年度繰越支払資金	918,201,638	918,201,638	
収入の部 合計	3,977,080,330	3,240,149,072	736,931,258
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	493,383,210	526,852,191	△ 33,468,981
教育研究経費支出	141,860,140	143,043,619	△ 1,183,479
管理経費支出	228,143,477	390,812,721	△ 162,669,244
借入金等利息支出	5,500,000	8,238,667	△ 2,738,667
借入金等返済支出	21,137,000	20,004,000	1,133,000
施設関係支出	892,852,040	672,197,567	220,654,473
設備関係支出	8,500,000	269,272,882	△ 260,772,882
資産運用支出	284,000,000	248,745,209	35,254,791
その他の支出	414,100,000	545,738,873	△ 131,638,873
資金支出調整勘定	0	△ 422,983,832	422,983,832
翌年度繰越支払資金	1,487,604,463	838,227,175	649,377,288
支出の部 合計	3,977,080,330	3,240,149,072	736,931,258

事業活動収支計算書

令和 7年 4月 1日 から

令和 8年 3月31日 まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異		
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	944,872,498	967,495,070	△ 22,622,572	
		手数料	18,843,690	19,713,575	△ 869,885	
		寄付金	2,000,000	123,000	1,877,000	
		経常費等補助金	5,530,000	6,082,212	△ 552,212	
		国庫補助金	0	0	0	
		地方公共団体補助金	5,530,000	6,082,212	△ 552,212	
		付随事業・収益事業収入	15,284,488	16,920,248	△ 1,635,760	
		雑収入	33,000,000	41,555,905	△ 8,555,905	
		教育活動収入計	1,019,530,676	1,051,890,010	△ 32,359,334	
		事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費		493,383,210	526,852,191	△ 33,468,981	
	教育研究経費		141,860,140	144,176,607	△ 2,316,467	
	管理経費		293,159,477	374,490,646	△ 81,331,169	
	徴収不能額等		0	0	0	
	教育活動支出計		928,402,827	1,045,519,444	△ 117,116,617	
	教育活動収支差額		91,127,849	6,370,566	84,757,283	
	教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
			受取利息・配当金	6,820,000	20,165,876	△ 13,345,876
			その他の教育活動外収入	4,455,512	6,673,879	△ 2,218,367
教育活動外収入計		11,275,512	26,839,755	△ 15,564,243		
事業活動支出の部		科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金等利息	5,500,000	8,238,667	△ 2,738,667	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計		5,500,000	8,238,667	△ 2,738,667		
教育活動外収支差額		5,500,000	8,238,667	△ 2,738,667		
経常収支差額		96,903,361	24,971,654	71,931,707		
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	205,000,000	112,834,313	92,165,687	
		その他の特別収入	670,713,000	671,280,000	△ 567,000	
	特別収入計		875,713,000	784,114,313	91,598,687	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	0	1,569,559	△ 1,569,559	
		その他の特別支出	0	83,291,580	△ 83,291,580	
	特別支出計		0	84,861,139	△ 84,861,139	
	特別収支差額		875,713,000	699,253,174	176,459,826	
	基本金組入前当年度収支差額		972,616,361	724,224,828	248,391,533	
基本金組入額合計		0	△ 1,542,870,678	1,542,870,678		
当年度収支差額		972,616,361	△ 818,645,850	1,791,262,211		
前年度繰越収支差額		0	△ 778,352,417	778,352,417		
基本金取崩額		0	1,026,400,460	△ 1,026,400,460		
翌年度繰越収支差額		972,616,361	△ 570,597,807	1,543,214,168		
(参考)						
事業活動収入計		1,906,519,188	1,862,844,078	43,675,110		
事業活動支出計		933,902,827	1,138,619,250	△ 204,716,423		

貸借対照表

令和 7年 4月 1日 から

令和 8年 3月31日 まで

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,461,005,969	3,385,737,649	1,075,268,320
有形固定資産	3,497,349,482	2,613,644,163	883,705,319
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	963,656,487	772,093,486	191,563,001
流動資産	976,620,422	1,018,991,277	△ 42,370,855
資産の部合計	5,437,626,391	4,404,728,926	1,032,897,465
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	831,992,000	645,996,000	185,996,000
流動負債	825,538,394	702,861,757	122,676,637
負債の部合計	1,657,530,394	1,348,857,757	308,672,637
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	4,350,693,804	3,834,223,586	516,470,218
第1号基本金	3,953,242,144	3,008,627,225	944,614,919
第2号基本金	316,119,706	763,570,000	△ 447,450,294
第4号基本金	81,331,954	62,026,361	19,305,593
繰越収支差額	△ 570,597,807	△ 778,352,417	207,754,610
翌年度繰越収支差額	△ 570,597,807	△ 778,352,417	207,754,610
純資産の部合計	3,780,095,997	3,055,871,169	724,224,828
負債及び純資産の部合計	5,437,626,391	4,404,728,926	1,032,897,465

財産目録

令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	年度末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地	1,567,799,682 円
2 建物	1,459,488,145 円
3 機械及び装置	24,282,742 円
4 構築物	27,899,831 円
5 車両運搬具	3,497,363 円
6 教育研究用機器備品	53,198,832 円
7 管理用機器備品	120,111,092 円
8 建物付属設備	592,130,115 円
9 建設仮勘定	96,776,294 円
10 一括償却資産	6,398,048 円
11 減価償却累計額	△454,232,662 円
12 差入保証金	1,670,400 円
13 電話加入権	509,600 円
14 施設利用権	16,500,000 円
15 ソフトウェア	1,660,000 円
16 電子マネー保証金	16,000 円
17 出資金	39,510,000 円
18 有価証券	757,228,026 円
19 営業権	19,047,619 円
20 保険積立金	126,514,842 円
21 無形固定資産	1,000,000 円
(二) 運用財産	
1 現金預金	838,227,175 円
(1) 現金	591,531 円
(2) 普通預金	650,951,029 円
(3) 定期預金	186,684,615 円
2 未収入金	58,970,807 円
3 貯蔵品	67,760 円
4 前払金	9,125,427 円
5 仮払金	470,190 円
6 立替金	780,150 円
7 繰延消費税	68,978,913 円
合計	5,437,626,391 円
二 負債額	
(一) 固定負債	
1 長期借入金	831,992,000 円
(二) 流動負債	
1 カード未払い金	1,906,235 円
2 未払金	51,529,381 円
3 前受金	753,783,530 円
4 預り金	18,319,248 円
合計	1,657,530,394 円
(差引正味財産)	3,780,095,997 円

監 査 報 告 書

令和8年5月27日

学校法人 西田学園
理事長 西田忠康 殿

学校法人 西田学園

監事 岩崎紳之助



監事 佐藤 賢一



私たちは、学校法人西田学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第29条第1項に基づいて同学園の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細書）を含め、学校法人の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、理事の業務執行は適切であり、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月～令和8年3月)

令和8年(2026年)5月

学校法人 西田学園

I. 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称	学校法人西田学園
②法人の所在地	東京都町田市森野 2-1 5-1 3 (2号館) 〒194-0022
③主たる事務所	東京都町田市森野 1-7-8 (1号館) 〒194-0022 電話：042-729-1026 FAX：042-721-8411
④公式サイト	https://alpha-net.ac.jp/

(2) アルファのDNA「建学の精神、アルファが大切にしている考え方、MVV」

【 建学の精神 】

自律から自立へ

今何をすべきなのか、明日に備えて今日は何を達成すべきなのか。

5年後10年後に備えて今の自身に課すべき課題は何なのか。

自分が理想とする自立の姿を実現するために、自分を厳しく律することが大切です。

学ぶ過程にある学生にとって自覚すべき重要な課題は、自律することです。

本学校で自身の目標を追求する先輩たちには、自律から自立への強い信念が漲っています。

【 アルファが大切にしている考え方 】

新しいものや変化に柔軟であること <Flexible>

新たなテクノロジーや社会の変化に対して、敏感な感性を持って客観的に捉え、変化を恐れず、柔軟に適応すること。価値を最大化する <Value>

新たな価値を創出することや、あらゆる既存の価値を再評価することによって、社会の幸福に寄与し、また自分自身の価値を知り、自己研鑽によって高めつつ、自己実現を果たすこと。

つながりを大切にする <Relation>

共生社会の実現を目指し、多様な価値観を尊重すること、また出会いや他者への想像力を大切にしつつ、あらゆるつながりを活かして共に成長すること。

【 αロゴへの思い 】



本校のロゴマークは「無限大の可能性」というコンセプトを表しています。

ギリシャ文字の最初の文字である「α」をベースに、ロゴマークの右側の余白部分に「∞(無限大)」を想起させるデザインとなっています。

多様なキャリア形成を目指す学生が、本校を通じて様々な可能性を見出して頂きたいという想いを、このロゴマークに込めています。

【 ミッション、ビジョン、バリュー 】

Mission	私たちの使命
<p>私たちが関わるすべての人の成長のために 私たちは、学生・地域社会・教職員と、ともに成長できることを追求します。</p>	
Vision	私たちのあるべき姿
<p>学びを求める人へ 可能性を届けようとする意欲を尊重し、次代を生き抜く力を獲得できる場となる 地域社会へ 社会を豊かにできるひとを育み、人々の幸せと発展に寄与する すべての人へ 人やコミュニティ同士のつながりを創り強めるハブとして機能する</p>	
Value	私たちが大切にしている価値観
<p>「相乗効果」 互いを知り、働きかけあうことで、思いがけない効果と結果を生む 「進歩主義」 変化を止めることなく、貪欲に行動し、過去を超える 「バランス感覚」 視座を自在に移し、多様な可能性から最適策を選択する</p>	

(3) 沿革

- ①創業 1979年
- ②学校法人認可 1986年 2月
- ③学校創立 1999年12月

- 1979年 西田学園の前身トフルアカデミーとして、日本初の海外大学院留学指導コース開設
TOEFL/GMAT/GRE の得点力強化講座開講
- 1980年 海外帰国子女のための国内大学進学コース開設 / 上智大・慶応大・早稲田大など、
私立大学進学コース開設
- 1986年 学校法人 西田学園設立 / 東京都町田市にソフィア早慶予備校設置
- 1992年 ソフィア早慶予備校町田東校を新設 / 私立大学進学コースを増設
- 1999年 アルファ福祉専門学校設置（東京都認可） / 介護福祉士科を開設（厚生労働省指定）
/ 介護福祉士国家資格取得コースを開講
- 2000年 ホームヘルパー養成コース開講（東京都知事許可）
- 2001年 社会福祉士通信科、精神保健福祉士通信科開設（厚生労働省指定）
- 2008年 アルファ附属治療院開設（はり・きゅう・整骨・接骨）
- 2009年 アルファ医療福祉専門学校に改名 / 柔道整復学科、鍼灸学科開設（厚生労働省指定）
- 2010年 アルファ医療福祉専門学校 1号館 建替え
- 2013年 介護職員初任者研修開講（東京都知事許可）
- 2014年 こども保育学科開設（厚生労働省指定） / アルファ医療福祉専門学校 3号館 新設
/ アルファ医療福祉専門学校 2号館 改装リニューアル
- 2015年 介護福祉 実務者研修開講（東京都知事許可）
- 2016年 学園創立 30周年記念式典
- 2019年 介護福祉学科、こども保育学科が職業実践専門課程に認定 / 学校創立 20周年記念式典
- 2020年 柔道整復学科、鍼灸学科が職業実践専門課程に認定 / ALPHA LOUNGE 1号館 新設
- 2024年 アルファ医療福祉専門学校 4号館 新設
- 2025年 アルファ医療福祉専門学校創設 25周年
- 2026年 学園創立 40周年 / 2号館増改築 / アルファ医療福祉美容専門学校に校名変更
/ 衛生専門課程 新設（東京都知事認可） / 美容学科 開設（厚生労働省指定）

(4) 設置する学校・所在地・学科・コース・修業年限・定員・在籍数 (令和7年4月1日時点)

①学校名：アルファ医療福祉専門学校

②所在地：1号館／〒194-0022 東京都町田市森野1-7-8
 2号館／〒194-0022 東京都町田市森野2-15-13
 3号館／〒194-0022 東京都町田市森野1-10-18
 4号館／〒194-0022 東京都町田市森野2-31-2
 駐輪場／〒194-0022 東京都町田市森野1-7-30

③通学制／学科・定員・在籍数

No.	学科名	修業年限	入学定員	総定員	在籍数
1	柔道整復学科	3年	60名	180名	109名
2	鍼灸学科	3年	60名	180名	135名
3	こども保育学科	2年	50名	100名	96名
4	介護福祉学科	2年	35名	70名	57名
合計			205名	530名	397名

④通信制／学科・コース・定員・在籍数

No.	コース名	修業年限	入学定員	総定員	在籍数
1	社会福祉士通信科 一般養成コース	1年6カ月	700名	1400名	930名
2	社会福祉士通信科 短期養成コース	9カ月	80名	80名	42名
3	精神保健福祉士通信科 一般養成コース	1年7カ月	300名	600名	348名
4	精神保健福祉士通信科 短期養成コース	9カ月	360名	360名	274名
合計			1,980名	2,440名	1594名

(5) 役員／理事・監事・評議員 (令和7年4月1日時点)

①理事・監事	理事	理事長	西田 忠康	
	理事	学校長	瀧 将仁	
	理事		龍口 敏雄	
	理事		鈴木 正貴	
	理事		鳥居 勝幸	
	理事		林 功	
	理事		長谷川 智彦	計7名
	監事		佐藤 賢一	
	監事		岩崎 紳之助	計2名
②評議員	学識経験者3名		北尾 知道	
			小林 敬明	
			西田 理紗	
	卒業生2名		河東 大輔	
			松坂 健志	
	職員2名		二宮 幸太	
		平田 篤史	計8名	

(6) 教職員数

①教員	本務 (常勤)	29名	
	兼務 (非常勤)	183名	計212名
②職員	本務 (常勤)	41名	
	(非常勤)	12名	計53名

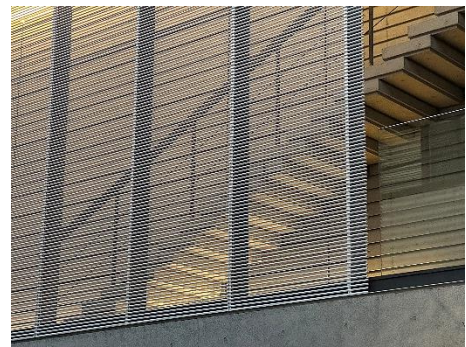
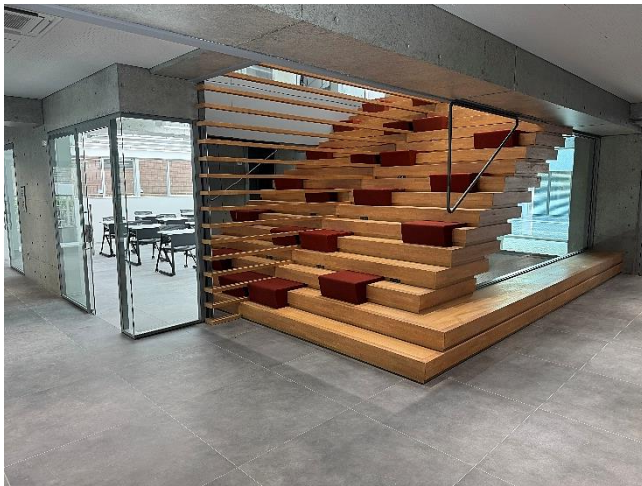
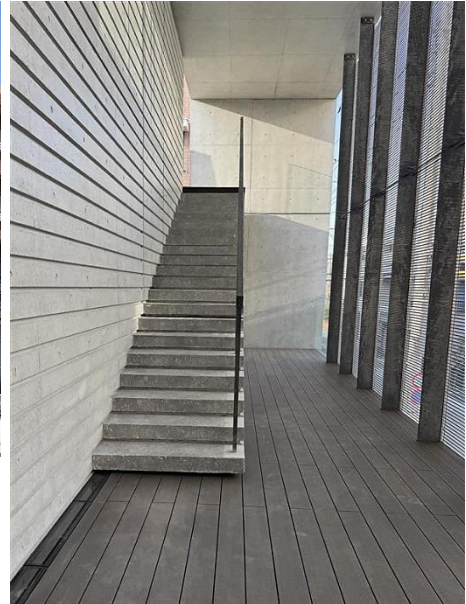
II. 事業の概要

(1) 法人部門

①校舎の増改築、設備

- ・ 2号館：増改築工事／太陽光設備工事（防音補助事業）

令和6年9月～解体→令和7年2月～新築工事→令和8年2月竣工



(R8/2/4photo)

・各種メディア掲載

アルファ医療福祉美容専門学校新2号館



日刊建設工業新聞
2026年03月13日

東京都町田市に立体的な回遊で教員と学生のコミュニケーションを誘発する学校建築が誕生した。外部と内部両方の commons ペースから丁寧に視線をコントロールした開口部を設け、外部環境や多様な学習環境との関係を視覚、ガラスやルーバーを使って視覚を緩やかに取り組み、互いの気配を感じられる空間の奥行きをつくれた。

「アルファ医療福祉美容専門学校新2号館」の建設地は総坪2の15013（敷地面積4650㎡）。建物はR/C造地下1階地上3階建てで総棟1階延べ1182㎡、最高高さ13.2m。設計監理は岩崎光也建築設計事務所+オザワデザイン一般建築士事務所が担当。北野建設が施工した。

既存建物の各層面積を維持しながら、防音仕様を準拠し建て替えたプロジェクト。日影の影響管理や防音区画などを検証した上、前面道路側に最大限の寸法を確保し、まちに対して開いた建築の「顔」をつくれた。

「内外の commons ペースを立体的に連続配置し、複数の動線が通っている」と話すのは岩崎光也氏。各階平面は1階の廊下と居室を設けた。1階のセンターステップから2階のアウトワークス（半

設計監理：岩崎光也建築設計事務所

内外の commons ペースを立体的につなぐ



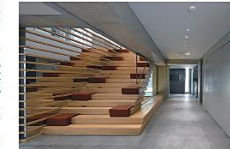
アウトワークスへの通路側にアルミルーバーを配し学生の動きがまちに伝わる

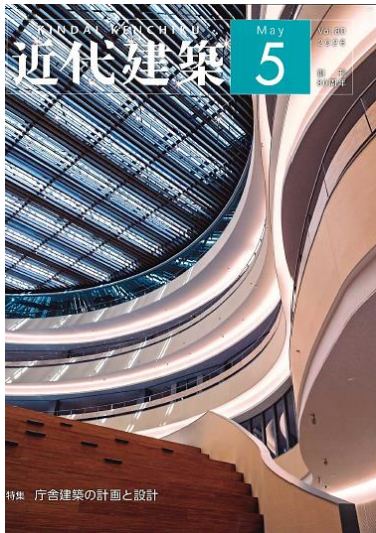
重にも切り取られる風量を意図した狙いがある。断面が丸型のルーバーは、光の拡散と透過という二つの機能を併せ持ち、季節や時間帯によって反射と透過の異なる表情を見せることで空間の質が変化する。

人と人が関わるソーシャルワークを育成するための学校として、人のスケールを建築に取り込むことを主眼の一つにした（岩崎氏）。最も身近なヒューマンスケールである階段付近に着目しデザインを開発。階段の段上げスケールを40mmのボーダーの重なりで可視化し、壁面や家具に転写した。ボーダーはR/Cの凹面と本面、木の凸面など場所ごとに変えている。

4月に開校し学生たちを迎える。学びの風量がまちへと溢れ込み、町田に新たな活気と彩りを与えるだろう。

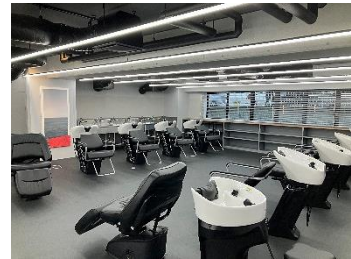
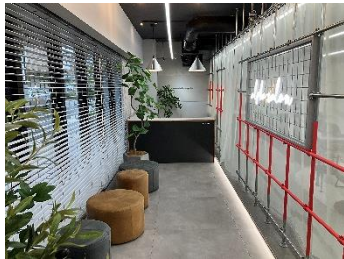
階段教室にも利用できるセンターステップ
撮影はすべてフォトワークス合同会社 松田哲也





・ 1号館隣地：アルファ駐輪場予定地／令和8年2月取得

・ 4号館：美容サロン実習室等の整備／令和8年3月完成



・ 2号館完成お披露目会& 4号館美容サロン実習室見学会

▷開催日：令和8年3月24日

▷来場者：83名／40事業所（ご招待者のみ）

（ご案内リーフレット）

New

本状が届いた皆様
特別ご招待

新2号館完成見学会

このたびは本校では、日頃より教育活動においてご支援を賜っている皆様へ感謝の気持ちを込めて「新2号館完成見学会」を開催いたします。

2026年3月24日（火）
13時00分～17時00分（定例休館中開催となります）

学校法人西田学園
アルファ医療福祉美容専門学校

2026年3月 新校舎2号館、誕生。

実業部棟（新名大の設計を数多く手掛ける建築士名「鶴岡兵衛氏・荒川成一氏」による設計。新2号館は建築・設備・安心という3つの安心要素を本校に初導入しています。快適な学習環境を本校生徒に率先的に提供します。

Alpha bridge
Alpha station
Alpha salon

2026.3.24 13時00分～17時00分（定例休館中開催となります）

開催場所 アルファ医療福祉美容専門学校 新2号館
小田急町駅北口徒歩6分 〒194-0022 東京都町田市森野 2-15-13

申込締切 **3月3日（火）** 締切

お申込みはこちらから

(当日の様子)



②設置認可申請

- ・衛生専門課程、美容学科の新設（東京都私学部）：目的変更、学則変更、寄附行為の変更
- ・美容師養成施設の新設（東京都保健医療局）：指定申請

③補助金および助成金

- ・防衛省防音補助事業 2号館補助金（令和7年度/中間+残金） 防衛省 614,992 千円
- ・防衛省防音補助事業 1号館補助金（令和7年度/着手金） 防衛省 56,288 千円
- ・私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進） 東京都 200 千円
- ・私立専修学校職業実践専門課程推進補助金 東京都 1,985 千円
- ・私立専修学校教育環境整備費助成事業 東京都私学財団 3,740 千円
- ・私立学校授業目的講習送信保証金助成事業 東京都私学財団 157 千円
- ・高等教育就学支援新制度（授業料減免交付金） 日本学生支援機構 25,650 千円

合計 703,012 千円

④ICT化の推進

- ・医療学科向け 3D 骨格標本ソフト導入（助成金利用）
- ・教務システムの見直し・入れ替え実施



- ・複合機の総入れ替え（保守延長不可による）
- ・電子契約書の導入・推進
- ・学生向け PC 販売案内（業者）移行サポート
- ・全学科学生向け PC ガイダンス実施
- ・2号館 Wi-Fi 設備整備（一部助成金利用）

⑤就業環境の整備、拡充

1) 福利厚生/労務管理

- ・ GMO サイン導入により講師契約等を効率化
- ・ 一号館改修工事準備に伴い法人総務課の大樹生命町田ビルに一時移設
- ・ 2025.8月に学習支援課とタイアップした研修の実施
 - ①コミュニケーション研修 主催：保健同人フロンティア
 - ②ヘルスケア講演 主催：産業医/伊原玄英先生
- ・ 求人情報サイトを活用した人材採用

2) 産休取得者への対応

- ・ 3名が育児休業から復職。（2026年5月時点）
依然として保育園等託児施設・事業の入所保留による休業延長が多い一方、休業満了である1歳前日を待たず、早期復職の申し出を頂くケースが有難いことに複数件あった。制度として設けている柔軟な働き方（後述）を軸に、引き続き仕事と育児の両立に向けた支援を行う。

3) 柔軟な働き方を実現するための措置

育児・介護休業法が2025年10月1日に改正。「柔軟な働き方を実現するための措置」（以下、「措置」と記載）の導入が義務化された事を受けて教職員全体への周知用アンケートおよび、対象者用の意向確認フォームを作成。

⑥経理業務の効率化

- ・ 会計ソフト（TKC）のクラウド化により、スタンドアロンから複数人同時に入力できることにより、時間的拘束がなくなり業務の効率化が実現

(2) 教育部門／アルファ医療福祉専門学校

①学生募集

1) 主な取り組み

- ・通学制…SNS や Web 広告、高校訪問、高校進路ガイダンスの強化により、来校数は昨年度比 105%に増加。さらに、高校 2 年生の来校促進施策にも注力した結果、高校 2 年生以下の来校数も 150%に増加した。美容学科においては新設初年度で定員充足率 95%を達成した。
…入学数実績：226 名（前年 178 名／前年比 127.0%）
- ・通信制…今期、新たに福祉施設関係者や在校生・修了生とのリレーション強化を目的とし、ソーシャルワーク実践セミナー（オンデマンド講演会）や Web 広告などと連動した職域開拓に注力し、認知拡大を図る施策を展開した。その結果、資料請求数は昨対比 113.9%、メール・LINE の問い合わせ数も昨対比 155%と大きく伸長し、取り組みの成果が数値にも大きく表れた。…入学数実績：1,295 名（前年 1,233 名／前年比 105.0%）

2) 出願の状況／令和 8 年度生

- ・令和 8 年 4 月 1 日時点（※通信制：5 月 1 日時点）

学 科	募集定員	入学数	前年度	前年比
柔道整復学科	60 名	53 名	40 名	132.5%
鍼灸学科	60 名	36 名	57 名	63.2%
こども保育福祉学科	50 名	44 名	50 名	88.0%
介護福祉学科	35 名	36 名	31 名	116.1%
美容学科	60 名	57 名	---	新設
通学計	205 名	226 名	178 名	127.0%
社会福祉士通信科	780 名	670 名	653 名	102.6%
精神保健福祉士通信科	660 名	625 名	580 名	107.8%
通信計	1140 名	1,295 名	1,233 名	105.0%

②教育活動

1) 柔道整復学科

- ・キャンノンイーグルス施設見学（6 月 4 日）
このイベントでは、スポーツトレーナーを目指す学生が実際の現場を体験し、必要な知識や技能を学ぶことを目的としています。1 年生対象のクラブハウス見学会では、トレーナー業務内容を理解し、職業意識を高めました。事後アンケートでは、知識の応用力やコミュニケーションの重要性に気づいたという声が多く、学生にとって大きな学びとなったことがうかがえました。試合観戦も含めたイベントを通じ、トレーナーとしての役割や課題を体感できる貴重な機会となった。



- ・サッカートレーナーセミナー（6 月 24 日）

このイベントでは、スペインリーグ初日本人トレーナーである山田プロトレーナーを招き、トップレベルで活躍するトレーナーのリアルな声を聞き、実際の現場で培われた考え方やトレーニングスキル、テーピングスキルを学ぶことが出来ました。学生からは、非常に学びになったし、楽しかったなどの感想があがり、日々の学習のモチベーションに繋がった。



・介護実習（8月18日～29日）

柔道整復師が接骨院や整形外科で勤務する以外に、機能訓練指導員として介護施設で勤務するケースが増えていることを踏まえ、本年度から機能訓練特化型の介護施設だけではなく、デイサービス、デイケア、訪問介護、特別養護老人ホームなどすべての介護業態を出来、学生と利用者様が直接コミュニケーションが取れる機会もあり、大変実りのある実習となった。



・1年生対象施術体験会（1月26日）

1年生を対象に、初めての实習を前に、施術体験会を実施しました。6院の治療院に来校頂き、6院6様の治療技術を自分の身体で体験してもらうことで柔道整復師の仕事の魅力を発見、認識してもらう非常に良い機会となった。実施後のアンケートでは、「将来への仕事に対するやる気が出てきた」「普段の勉強がいかに大事なのがとてもよく分かった」など、モチベーションを高めるという意味でとても有意義なイベントとなった。



2) 鍼灸学科

【オンデマンド授業の実施形式の変更】

全学年が2部制となったため、設備面・募集の面でも午前・昼間とも週5・半日授業の形態を厳格に行う必要があったため、一部科目の全時間オンデマンドを行い、実習中の座学対面科目の中止→オンデマンド化と併用する形で対応を行った。2・3年生は前年からの流れがあり、慣れてきており、1年生に関しては最初からオンデマンド導入を前提に進めていたため、初期のUMUでの操作ミスや提出忘れを担当が細かくチェックしながら、何とか問題なく進めることができた。

【触診を重視した新カリキュラム運用スタート】

新1年生からの新カリキュラムではこれまでの「鍼実技」「灸実技」に加え、「触診実技」を導入した。(3年生の実技枠を1年生に下ろす形で実現) 担当者は手探りではありながら、解剖学に続く体表触察実技として骨や筋のランドマークを1つ1つ確認していく授業形態となった。人数も多いクラスでもあり、やや騒がしい実技にはなったが、これにより、2年生以降の応用的な鍼灸実技や経穴(ツボ)の正しい位置確定に効果が生じることを期待する。

【国家試験対策】

昨年度の3年生は「専門実践教育訓練給付金」の対象学年ということで、注意が必要な学年であったが、午前部は2年生の段階でクラスが荒れた経緯があり、昼間部は再設置の1期生で人数も少なかったことから離脱・留年・復学等が重なって顔ぶれが学年ごとに変更、結果、教員が過度に関わった一部に学習意識が低く、非常に依存度の高い学生が生じてしまった。クラスの1/3がモチベーション高く、飛び抜けているにもかかわらず、クラスの下位層1/3ほどに学習不振が続き、昨年・一昨年に比べ模試の点数でも伸び悩んで合格圏内に入れない者がいる中、2月の国試を迎えることとなった。その後、4名が卒業までに未修得科目をクリアできず留年となった。自己採点による合格率は7割を超える程度で、3月末の合格発表を待つこととなったが、今回の国試は例年になく難易度が高かったこともあり、全国平均が下落。なんとか全国平均を上回る形にはなったが、今回のケースから2年生段階でのクラス運営が国試合格には重要であるということが反省点として挙げられる結果となった。

【学科イベント】

- ・昨年度からの取り組みとして1・2年生の「江の島遠足」を実施。日本の鍼灸史における重要人物、江戸時代の杉山和一検校の墓参を行った。江の島には銅像もあり、晴天の中、地元藤沢市鍼灸マッサージ師会の西村博志先生のご講話を聞く機会を設け、非常に充実した学びの機会とできた。



- ・10月には「つながりの日」を継続実施。前年度末で日程を確定させ、卒業式ですでに告知も行っていったことから、14期生の参加率が高かった。今回も卒業生2名の講演会に加え、鍼のメーカー「セイリン株式会社」の展示ブースや物理医療機器メーカーの体験ブースなども設置し、前年より多くの動員を得ることができた。



- ・3月の「特別講演」では4年ぶりの来校となるつくば技術大学名誉教授、世界鍼灸学会連合会(WFAS)の副会長でもある形井秀一先生「臨床家の手の作り方」と題しての講演・実

技披露を午前に行った。膝裏への刺鍼で腰部の筋緊張を緩和させるなど、優れた技術を直に見られる機会に大きな感嘆の声が上がっていた。午後からは鍼灸師としてホスピタリティータッチ、タオルワークを指導する治療室ナチュレ院長、津田美奈子先生に実際の現場での細やかな対応、患者への気配りを実技中心にご指導いただいた。1年生からの「触診」重視の新カリキュラムを意識した構成だったが、イベント後のアンケートでは在学学生からも卒業生からも非常に評価が高く、「こうした技術が見たかった」「参加して良かった」「鍼灸の素晴らしさと触診の大切さがわかった」といった感想が多数寄せられた。



【就職】

6月と8月に昼休み時間帯での就職説明会を多目的で実施。卒業生が来校して就職先企業の様子を語るなどの場面もあった。特に訪問鍼灸の企業に問い合わせが殺到し、訪問業態への関心の高さが窺えた。ただ卒業式後も年配の社会人1名が就職先に求めるものが明確でなく、普段着で面接に臨んでしまい断られるなど、かなり難しい状況が続き、国試は無事合格したもののキャリア支援課でのフォローが続いている。その他は開業・就職・教員養成への進学となっている。



3) こども保育学科

- ・ 芹が谷公園冒険あそび場体験（1年A・Bクラス） 4月24日、5月8日
 芹が谷公園の冒険あそび場で、アスレチック遊びや自然物で作った遊具での遊びを体験したり、公園内を散策したり、春の自然に触れ戸外活動を楽しみ、子どもの世界を知る機会となった。



- ・ 令和7年度こども保育学科実習指導者協議会 5月2日、9日
 こども保育学科が設立されてから、初の開催となる。5/2→11園、5/9→16園の保育園（町田市、相模原市内、藤沢市内の保育園）が参加当校の実習に関する教育活動等について伝え、理解していただく。また、各園の保育内容についてや養成校への要望等を伺い、相互的に理解を深められる機会となった。
- ・ ドッジボール大会（2年Bクラス） 5月13日
 ホームルーム授業にて、クラスの親睦を深める機会として、芹が谷公園にてドッジボー

ル大会を実施した。プレーする側、応援する側が一体となり盛り上がった。青空のもと新緑の中で学生が気持ちよく身体を動かして楽しむことができた。



- ・草木染め、泡のぬりたくりあそび、(1年Aクラス)

授業、ホームルームにて、実際の保育活動の中で行われる「子どものあそび、活動」に触れる。子どもの目線に立ち、保育活動を楽しみながら、子どもの気持ちを理解する機会となった。



- ・学校法人柿の実学園 たけとんぼ保育園見学 (1年A・Bクラス) 5月29日、6月5日
保育活動が行われている教室に入り、保育園で生活する子どもたちと触れ合う機会を持つ。子どもたちや保育者の様子を間近で観察し、保育園の様子をより具体的に理解することのできる機会となった。
- ・学校法人柿の実学園 たけとんぼ保育園夏祭り参加 (教員4名) 7月25日
専任教員4名が保育園の夏祭り「たけまつり」のお手伝いに参加した。
教員が実際の保育現場での行事を体験し、保育における行事展開や環境構成、安全管理等を学び、今後の学生のより良い学びに繋がる貴重な機会となった。
- ・「ふれあい体験 (保育園)」(1年生A・Bクラス) 7月、8月
令和7年度よりの試みで、神奈川県保育協会主催の「ふれあい体験」に参加をした。事前ガイダンスを受け、各学生が神奈川県内の保育園へ赴き、実際の保育を体験させていただく。学生、それぞれに子どもと関わる楽しさを味わい、自分が目指す保育者像を明確にし、保育士の仕事に対して興味や課題を整理する貴重な経験となった。
- ・ハロウィンイベント保育園児来校 (1年生Aクラス) 10月31日
「株式会社ポートエモーション 保育施設ポエモ」「学校法人柿の実学園 たけとんぼ保育園」の子どもたちが、仮装をして来校する。当校の学生が準備をした手作りおもちゃとお菓子をプレゼントして交流をした。また、子どもたちより手作りの花束のプレゼントをいただき、子どもたちとの貴重な交流の機会となった。



- ・つながりの日（卒業生） 1月18日

「保育現場でのリトミック講座」講師に門馬香織先生をお迎えし、1号館多目的室にて実施した。25名の卒業生が参加した。保育現場におけるリトミック活動の実際を学ぶことのできる貴重な機会となった。講座終了後の交流会では、卒業生それぞれが近況や職場での様子を語り合い、情報交換をしながら卒業生同士の親睦を深めることができた。



- ・アートプロジェクト（2年A・Bクラス） 1月22日～2月5日

児童館である「町田市立 子どもセンターまあち」施設内の一スペースをお借りして実施した。「子どもたちに知ってもらいたい！読んでもらいたい！伝えたい！絵本の世界」をテーマに、造形作品を制作して、展示する活動を行った。「まあち」を利用する0歳～18歳までの子どもたちや親子に、絵本の世界を伝える中で子育て支援活動に触れる体験をすることができた。



4) 介護福祉学科

- ・生活支援技術Ⅱ非常勤講師半田先生による福祉車両体験授業を実施する。（2年生）5/13



- ・生活支援技術Ⅱ授業に介護現場のICT化に向けてどのように変化しているのかを学ぶため昨年同様サイバーダインの協力をいただき「HALの装着体験授業」6/26



- ・学びの日のイベントには「防災について考える」東京都の介護福祉士会から協力をえて、

- DWAT のメンバーの講話をいただいた。その際に、ボトル防災グッズを作る体験をする。9/25
- ・「国際福祉機器展」に出かけ、さまざまな福祉用具を見学し体験する。(1年生) 10/10
- ・ノウリツプレジジョン(株)の協力で「眠りスキャンの説明授業」10/16
- ・三菱総研DCS(株)の協力で「コミュニケーションロボットのレクレーション授業」を実施。(1年生) 10/29

5) 通信教育学科(社会福祉士通信科、精神保健福祉士通信科)

①オンデマンド型企业説明会の実施

- ・本年度は、福祉・医療分野への就職・転職を希望する在校生および修了生に向けて、オンデマンド型企业説明会を実施した。本企画では、学生や修了生が時間や場所に制約されることなく、参加法人の説明動画を視聴できる形式とした。これにより、現在他業界で勤務している社会人学生や、資格取得後に福祉・医療業界への転職を検討している修了生に対して、具体的な就職先・転職先を知る機会を提供することができた。参加法人は14法人となり、動画の総視聴回数は2,100回を超えた。これは、在校生・修了生の福祉・医療分野への関心の高さを示すとともに、資格取得後のキャリア形成において、学校が継続的に支援を行う意義を示す結果となった。本取組を通じて、社会福祉士・精神保健福祉士の専門性を活かして働くことができる現場と、学習者・修了生をつなぐ導線を整備することができた。

②修了生向けポータルサイトの開設・運営

- ・修了生支援の一環として、社会福祉士・精神保健福祉士通信教育学科の修了生向けポータルサイトを開設した。当初は利用登録制として運用を開始し、登録者数は600名を超えた。その後、より多くの修了生が円滑に情報へアクセスできるよう、利用登録を不要とし、誰でも閲覧・利用できる運用へ変更した。ポータルサイトでは、ウェビナー情報、求人情報、研修案内、実習指導者講習会に関する情報など、修了後の専門職としての継続的な学びやキャリア形成に資する情報を発信している。これにより、修了後も本校が有するネットワークや教育資源を活用できる仕組みを整備した。本取組は、単に資格取得を支援するだけでなく、資格取得後の専門職としての成長や、修了生同士・学校との継続的なつながりを支える基盤となっている。

③近畿エリアでのスクーリング展開に向けた体制整備

- ・次年度以降の近畿エリアでのスクーリング募集開始に向け、教育体制の拡充に向けた準備を進めた。その一環として、非常勤講師との懇親会を開催し、本校の今後のビジョンや通信教育学科として目指す方向性を共有した。あわせて、教員間のネットワーク形成、教育資源の共有、スクーリング運営における協力体制の構築を図った。今後、近畿エリアでのスクーリング展開を進めるにあたっては、単に会場を増やすだけでなく、教育の質を維持しながら規模拡大を図ることが重要である。そのため、本年度は非常勤講師との関係構築を通じて、安定した教育運に向けた下地づくりを行った。

③学生支援

1) 教職員間の連携強化

- ・教職員の連携・協働を強化し、学生たちの学習・学修の継続を全学的に支援する。

2) 主な取り組み

①全学的な対応力強化

- ・学生情報の共有強化(info Clipper・サイボウズ活用等)
- ・研修企画/実施、外部研修情報共有
- ・外部リソースの拡充(専門機関へのリファー・保護者との連携強化等)

②学習・学力向上へのアプローチ

- ・学習方法の提案、学習サポート体制の構築（TA・学生スタッフ等）
- ・学習に関する個別面談/個別指導（学習計画の立案等）
- ・学生の学力把握、学力向上の施策検討/実施

③スムーズな学生生活開始へのアプローチ

- ・入学前相談の実施、手続きや案内書面の改善（誰にでもわかりやすく）
- ・オリエンテーションの改善

④個別最適化した対応実施へのアプローチ

- ・入学前取得情報の活用（入試内容・出願資料等）、アセスメントの実施・活用
- ・チームでの個別事案対応（教員・職員・SCでの連携）

3) 退学・除籍数

学 科	在籍数	退学除籍数	退学除籍率
柔道整復学科	109名	9名	8.2%
鍼灸学科	135名	14名	10.3%
こども保育学科	96名	11名	11.4%
介護福祉学科	57名	5名	8.7%
通学計	397名	39名	9.8%
社会福祉士通信科	1191名	33名	2.8%
精神保健福祉士通信科	784名	14名	1.8%
通信計	1975名	47名	2.4%

④国家試験対策

1) 主な取り組み

- ・直近の国家試験を分析し反映した授業カリキュラムの実施
- ・演習量の確保（模擬試験の強化、IT導入による学習効率化）
- ・個別フォローアップの実施（教員・TA・SC）、自習室開放等学習環境の提供
- ・国試不合格者への支援体制強化（パッケージ化）

2) 国家資格試験の結果

- ・令和8年3月31日時点

学 科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復学科	29名	26名	89.7%	71.5%
鍼灸学科	31名	24名	75.8%	68.9%
こども保育学科	40名	40名	100.0%	28.0%
介護福祉学科	21名	20名	95.2%	78.3%
通学計	121名	110名	90.9%	
社会福祉士通信科（一般）	451名	368名	81.6%	60.7%
社会福祉士通信科（短期）	42名	36名	85.7%	60.7%
精神保健福祉士通信科（一般）	186名	145名	78.0%	78.2%
精神保健福祉士通信科（短期）	333名	319名	95.8%	78.2%
通信計	1012名	868名	85.8%	

⑤就職、進学

1) 主な取り組み

- ・個別相談…今期も約 400 件の就職や今後のキャリア形成に向けた個別相談を実施。卒業後のキャリア形成全般に関する相談や、就職活動の進め方、企業担当者とのやり取りに関するアドバイス、履歴書作成のサポート、面接練習も実施。また在学生のみならず、卒業生のキャリア形成に対する個別相談も実施している。
- ・授業／特別セミナーの実施…通学制全学科全クラスにて、年度はじめにキャリアガイダンスを実施。就職や進学、開業等、進路に対する意識づけを行った。その結果、1年次から企業説明会や施設・治療院の見学に足を運び、自身のキャリアを考える学生も多数いた。また、介護・保育の学科では1年次に授業「キャリアデザイン(各 15 コマ)」を担当し、ロールモデルとして卒業生も招きながら、自己理解と職業理解の 2 軸からキャリア形成に関する考えを深める支援を実施している。他特別セミナーとして、柔整・鍼灸の学科では臨床実習前マナー講座や、保育学科では公務員セミナーを実施。公務員として保育士を目指す学生に向けた支援も充実させている。
- ・企業対応(採用担当者面談)…今期は約 297 件、企業採用担当者との面談を行った。美容学科及び通信教育学科の関連企業にも対応を広げたことから、昨年の 185 件を大きく上回る結果に。また、キャリア支援課として定期的に各施設や治療院にも実際に訪問。取得した企業の特徴や採用選考の傾向等の情報は、随時学生へタイムリーに情報提供を行っている。
- ・2年目の運用となった学校公式の求人検索システム「Careermap」においては、新規開講の美容学科も含めて一都三県の募集だけでも通学制・通信制合計 2,019 件の求人票を掲載。総求人数としては 18,967 人にも及ぶ。専用スマホアプリでの求人検索を可能とし、学生たちの就職活動の ICT 化を進めている。
- ・美容学科開講に向けて…美容学科教員と共に入学予定者全員と入学前面談を実施。入学前の段階から信頼関係の構築を行い、キャリア形成の活性化、学生の定着にも努めている。

2) 企業説明会の開催

- ・通学制の学科においては最終学年の学生を対象に春～夏の時期に学内企業説明会を開催。就職活動における視野を広げると同時に、今後主体的な進路選択を行う上でのスイッチを入れている。結果として企業説明会参加企業に就職したケースも多数。また鍼灸学科においても 5 年ぶりに企業説明会を実施。1～3 年生まで全学生を対象に公募制で実施を行い、多くの学生が参加をしている。
- ・通信制においてもはじめて事前収録型のオンデマンド型企业説明会を開催。全 14 法人が参加。YouTube 限定配信形式にて各企業様の動画を配信し、総再生数は 2,000 回を超える。

3) 就職の状況

- ・令和 8 年 3 月 31 日時点

学 科	就職率	就職希望者	就職決定者	進学者	開業・予定
柔道整復学科 (午前)	100.0%	21 名	21 名	0 名	0 名
柔道整復学科 (午後)	100.0%	7 名	7 名	0 名	0 名
鍼灸学科 (午前)	94.1%	17 名	16 名	2 名	7 名
鍼灸学科 (午後)	100.0%	1 名	1 名	0 名	4 名
こども保育学科 (A)	92.8%	14 名	13 名	0 名	0 名
こども保育学科 (B)	92.3%	26 名	24 名	0 名	0 名
介護福祉学科	100.0%	23 名	23 名	0 名	0 名
合 計	96.3%	109 名	105 名	2 名	11 名

4) 進学状況

- ・産業能率大学通信課程との教育連携協定締結による大学編入希望者向け説明会の開催
…三年次編入学者：1名（こども保育学科）

⑥産学官連携プロジェクト

1) 包括的産学教育連携に関する協定書

- ・今年度より各業界企業との協定締結をスタート。本協定の目的としては以下の通り。
産・学・官、三者が有する教育・研究資源および業界知見を有機的に連携させることにより、専門職人材の育成とキャリア形成の支援、教育活動と企業活動の相互活性化を図るとともに、医療・福祉・美容分野における産学官連携モデルの確立を目指す。さらに、次世代人材の育成支援、業界全体の専門性および社会的価値の向上、地域社会への貢献を通じて、持続可能な産業・社会の発展に寄与することを本プロジェクトの目的とする。

◇当校としての目標

- ・実習先の獲得（通学/通信ともに）
- ・就職先の開拓（通学/通信ともに）
- ・社会的信頼度向上による学生募集の裾野拡大
- ・現場プロフェッショナルとの連携による実践的な教育の質向上
- ・当校の取り組みに賛同いただいた個人/法人からの寄付金獲得
- ・医療/福祉/美容業界に向けた優秀な人材の輩出
- ・産学官連携による新プロジェクトの模索、実行

【2025年度の締結実績】

- ・介護：13社／保育：7社／医療：10社／通信：7社／美容：1社 合計：38社
協定締結企業を「アルファパートナー」としてロゴ一覧を掲載。各企業との締結はプレスリリースとしても発信している。



社会福祉法人 竹清会



社会福祉法人いきいき福祉会
ラポールグループ



株式会社まごころグループ



有限会社ヒーリング・スポット



ひばり鍼灸整骨院



さくらメディカル株式会社



セコムフォート多摩株式会社



ツツイグループ



医療法人社団LIFE



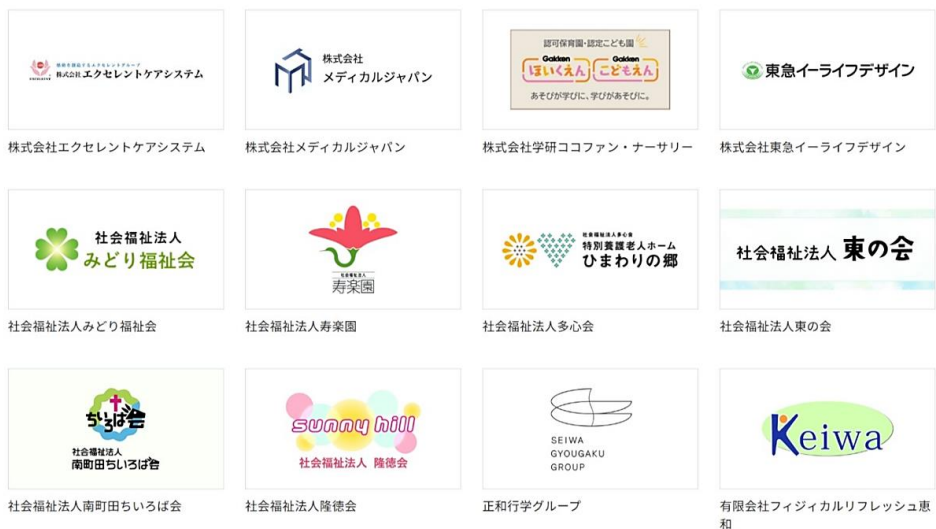
医療法人社団ユニメディコ



医療法人慶泉会



株式会社FlatVillage



2) アルファ産学連携交流会 2025

- ・開催日：令和7年10月17日
- ・場 所：横浜モノリス<YOKOHAMA MONOLITH>
- ・参加数：123名/87事業所（医療・福祉・保育等の事業者）

柔整鍼灸分野：31名/23事業所
保育分野：27名/19事業所
介護福祉分野：40名/27事業所
通信教育分野：25名/18事業所

（ご案内リーフレット）

アルファ医療福祉専門学校
産学連携交流会 2025
Exchange meeting
2025年10月17日(金)
16時00分～18時00分
（受付開始15時20分）

このたび本校では、産学が連携し、交流を深めながら協力関係を築くことを目的に、地域の医療・福祉・保育事業所の皆さまをお招きし、「産学連携交流会」を開催いたします。本交流会では、本校のビジョンや取り組みを広く紹介するとともに、就業先職の方々との個別のやり取りの機会、質疑・質問に関する直接の交流を通じて、法人・事業所の皆さまと本校との相互理解を深め、今後のより深い連携につなげてまいりたいと考えております。

日 程 2025年10月17日(金) **場 所** 16時00分～18時00分
開催場所 横浜モノリス 横浜モノリス1101 **対象** 医療・福祉・保育等の事業者
参加費 5,000円（1名につき） **申込締切** 10月3日(金)まで

お申し込みはこちら
事前申込制
QRコードから申し込みます
お申し込みの受付は、お申し込みの受付時間までとなります。
お申し込みの受付は、お申し込みの受付時間までとなります。
お申し込みの受付は、お申し込みの受付時間までとなります。

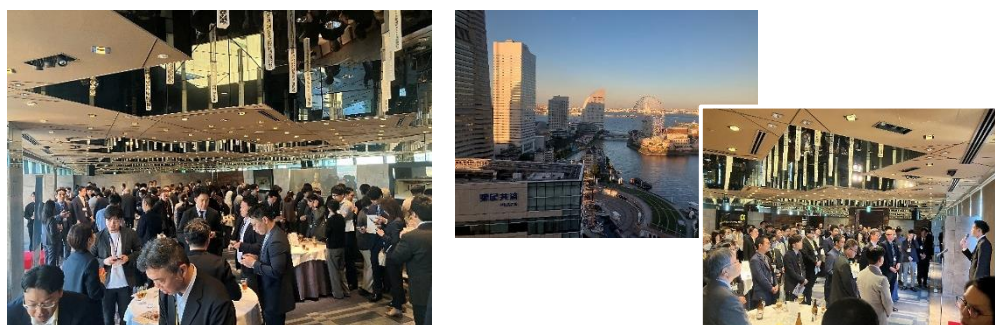
アルファ医療福祉専門学校について
今年で創立26年目を迎え、長年にわたり医療・福祉・保育分野の専門職の養成に尽力してまいりました。現在では、13,000名以上に及ぶ卒業生が、医療・福祉・保育の現場を支え、様々な領域で活躍しています。

設置学科
柔道整復学科
鍼灸学科
こども保育学科
介護福祉学科
美容学科（美容師専攻）
社会福祉士通信科
精神保健福祉士通信科

新しい時代の専門職業人の育成
デジタル技術革新とグローバル化に対応し、柔軟な思考力、問題解決能力、多岐を専攻する姿勢を育んだ医療・福祉・保育・美容の専門職業人の育成を目指します。

学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校 電話：042-729-1026（産学連携担当宛）

（当日の様子）



⑦学校セレモニー&イベント

1) 入学式 (2025. 4. 3)

- ・会場：町田市民ホール、出席数：222名
(入学生179名中172名、保護者・家族50名)



2) +αまなびの日 2025 (9月25日)

- ・会場：1・2・3・4号館校舎、参加数：105名

まなびの日2025 参加人数

■午前:テーマ別セミナー

セミナーテーマ	参加申込数				
	計	介護	柔整	保育	鍼灸
(A) パーソナルカラーを知ろう!～見え方×見せ方～	32	5	6	10	11
(B) 職場で信頼と協力の関係を築く、コミュニケーションの心理学	16	1	3	9	3
(C) 災害時の「福祉的支援」について～災害福祉派遣チーム(東京DWAT)について～	11	5	3	1	2
(D) 好印象を与える美しい歩き方と所作	6	1	0	1	4
(E) ゼロから始めるセルフブランディング`Canva`生成AI`Instagram`の活用`	6	1	0	2	3
合計	71	13	12	23	23

セミナーテーマ	当日参加人数				
	計	介護	柔整	保育	鍼灸
(A) パーソナルカラーを知ろう!～見え方×見せ方～	28	5	3	10	10
(B) 職場で信頼と協力の関係を築く、コミュニケーションの心理学	10	1	2	5	2
(C) 災害時の「福祉的支援」について～災害福祉派遣チーム(東京DWAT)について～	9	5	3	0	1
(D) 好印象を与える美しい歩き方と所作	6	1	0	1	4
(E) ゼロから始めるセルフブランディング`Canva`生成AI`Instagram`の活用`	5	1	0	1	3
合計	58	13	8	17	20

■午後:学科シャッフル交流会

参加申込数				
計	介護	柔整	保育	鍼灸
37	7	6	13	11

当日参加人数				
計	介護	柔整	保育	鍼灸
31	7	4	11	9

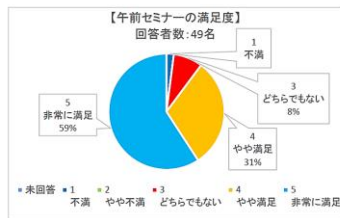
欠席:12名
当日申込:6名

受講後アンケート集計結果

■セミナー全体
参加者数 58名
回答者数 49名

・午前セミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	未回答	1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 非常に満足
人数	0	1	0	4	15	29

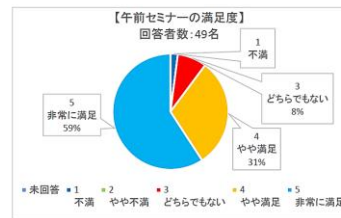


受講後アンケート集計結果

■セミナー全体
参加者数 58名
回答者数 49名

・午前セミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	未回答	1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 非常に満足
人数	0	1	0	4	15	29

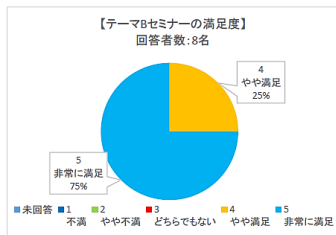


■テーマB:職場で信頼と協力の関係を築く、コミュニケーションの心理学

参加者数 10名
回答者数 8名

テーマBセミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	未回答	1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 非常に満足
人数	0	0	0	0	2	6



上記満足度を選択した理由(自由記述式)(一部抜粋・省略)

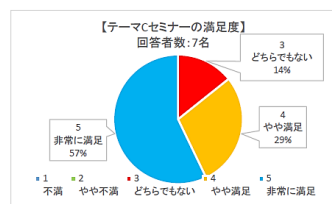
- ・とてもわかりやすい内容で、すぐに役に立つと思った。充実した時間が過ぎた。
- ・先生の話が面白く、自分の中のモヤモヤが少なくなったため、受けて良かった。
- ・対人コミュニケーションにおいて、何となく考えていた事が明確になった。
- ・楽しく深い学びを得ることができました。
- ・苦手な人は自分の思考が作り出しているという事実がわかり、その対処法についても学ぶことができた。
- ・先生のお人柄も魅力で興味のあるテーマだったため。
- ・(4やや満足)
- ・グループワークの内容が良かった。
- ・勉強になった。

■テーマC:災害時の「福祉的支援」について～災害福祉派遣チーム(東京DWAT)について～

参加者数 9名
回答者数 7名

テーマCセミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	未回答	1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 非常に満足
人数	0	0	0	1	2	4



上記満足度を選択した理由(自由記述式)(一部抜粋・省略)

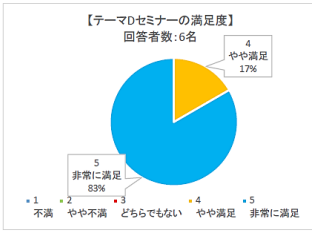
- ・(5非常に満足)
- ・先生のご家族の水書体験、施設での長時間停車の体験からの話は説得力があった。最後の防災ボトル作りは自分ではなかなかやらない事を体験させていただきました。
- ・災害時には想定外の事態が発生することがあるため、BOPは作って終わりではなく日頃から訓練を重ね、関係者が連携を強化することが命を守ることにつながると分かった。
- ・介護福祉士の勉強をしていく上で理解が深まった
- ・自然災害に関して福祉施設の対応について今回の研修で実際の状況とリンクした講演で策定の必要性、重要性を実感した。
- ・(4やや満足)
- ・防災ボトル作成が面白い
- ・防災ボトル作りもあったので、退屈することなく学ぶことができた。
- ・しかし、団体に入るまでどのようなルートを通れば良いのか、資格などについても知りたかった。
- ・介護以外の他の団体の活動についても、広く知りたかった。
- ・(3どちらでもない)
- ・災害時の具体的な活動内容など、詳しく話が聞けたら尚良かった。

■テーマD: 好印象を与える美しい歩き方と所作

参加者数 6名
回答者数 6名

テーマDセミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	1	2	3	4	5
	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	非常に満足
人数	0	0	0	1	5



上記満足度を選択した理由(自由記述式)(一部抜粋・省略)

(5非常に満足)

- ・姿勢や所作によって、他者から見える印象が大きく変化することに気がついた。
- ・歩き方にもコツがある事が知れてとても良かった。なにより印象アップするのがとても良い。
- ・今まで教わった事のない内容だが、日常で大切なものだから。
- ・役に立つ
- ・正しい歩き方は筋肉も鍛えられるのがすごいと思った。

(4やや満足)

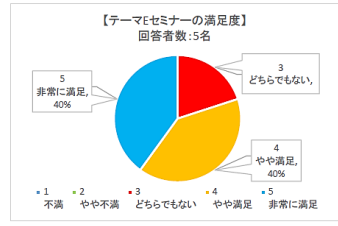
姿勢を見直すきっかけになって良かったです。

■テーマE:ゼロから始めるセルフブランディング～Canva・生成AI・Instagramの活用～

参加者数 5名
回答者数 5名

テーマEセミナーへの満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	1	2	3	4	5
	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	非常に満足
人数	0	0	1	2	2



上記満足度を選択した理由(自由記述式)(一部抜粋・省略)

(5非常に満足)

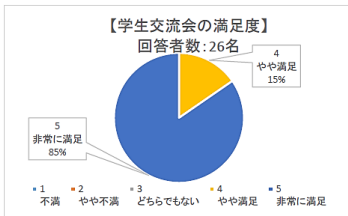
- ・就職先での情報発信にとても活用できる内容で、とても学びに繋がった。
- ・データを表で示して説明していただけたので、説得力があった
- (4やや満足)
- ・インスタの可動は難しそうと感じた。
- (2やや不満)
- ・AIについても色々聞きたかった。

■午後: 学生交流会の満足度を回答ください

参加者数 31名
回答者数 26名

・学生交流会の満足度(1～5の5段階評価)

満足度(5段階評価)	1	2	3	4	5
	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	非常に満足
人数	0	0	0	4	22



・上記満足度を選択した理由(自由記述式)(一部抜粋・省略)

(5非常に満足)

- ・カードゲームで他学科の同級生と仲良くなり、とても良い思い出になった。
- ・サブウェイが美味しく、ゲームが楽しかった。
- ・社会人を経験している人のお話も聞けて、有意義な時間になった。また参加したい。
- ・他の学科のさまざまな年代の方と、楽しく交流することが出来た。
- ・なかなか人と交流することがないので良い機会になった。
- ・ゲームなどを準備してくれたので、他学科の初対面の方も楽しく会話できた。
- ・学科が均等に分かれるようにチーム分けを工夫してくれていた。
- ・アイスブレイクに最適なゲームを行い、軽食からのビンゴという流れが良い。イベントの進行もスムーズで、素晴らしいと思った。
- ・当日参加でもあたたかく迎えて下さり、ありがとうございました。
- ・同席の方々と顔見知りになることが出来た。魂を作って下さったことに感謝している。
- ・違う学科の人や先生と話したり、ゲームをしたして楽しかった。
- ・班に職員、先生が入り、コミュニケーションがスムーズに取れるように配慮してくれたため、分からないことをすぐに聞ける環境で、最後まで楽しむことができた。

(4やや満足)

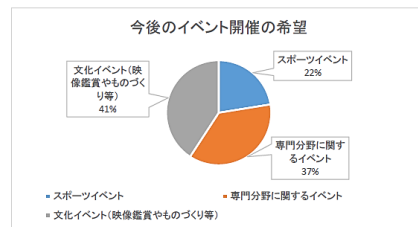
普段関わりのない方と話せて楽しかった

色々な話しかけて良かった

■今後、参加してみたいイベント

・今後のイベント開催の希望

項目	スポーツイベント	専門分野に関するイベント	文化イベント(映像鑑賞やものづくり等)
人数	11	18	20



■総括(教務課:谷岡)

○参加申込について

- ・申込開始時より時間が経つにつれて、新規申込数が減少したが、教職員からの継続的な呼びかけや入口付近への掲示により、締め切り間際で申込数が増加した。学生の目につくように宣伝することが要点になったと考える。

○実施内容について(午前:テーマ別セミナー)

- ・昨年度と違い、午前にテーマ別セミナー、午後に学生交流会を実施した。学びたい学生、楽しいイベントに参加したい学生のどちらの要望にも応える形で開催できた。
- ・アンケート結果には「参加してよかった」という声が多数あった。
- ・内容について、不満の声もあるが、ほとんどが「今回のセミナーで話せなかった部分も聞きたかった」というように、さらに深い学びを欲する声である。
- ・本イベントの趣旨「普段の学びにはない+αのまなび」と学生のニーズが一致しているのを感じた。

○実施内容について(午後:学科シャッフル交流会)

- ・学科・年齢も様々な学生がグループになり楽しんでいただける時間を提供できたことが大きな成果。
- ・学生同士だけでなく、普段あまり関わる機会が少ない教職員の方々と学生が交流でき反響が良かった。
- ・教職員は参加者が想定よりも少なく、グループの統合に少し混乱が生じた為、
- ・今後は、当日の参加状況に応じた柔軟な対応方法を事前に検討しておく必要があると感じた。
- ・席替えを途中に導入することでより多くの学生との交流機会が増えるのではないかと感じた。

最後に、各テーマの講師選出・講義の設定・当日運営までご協力いただいた全教職員の皆様にも多大なる感謝を申し上げます。

以上

3) 卒業式 (2026. 3. 11)

- ・会場: 町田市民ホール、出席数: 186名

(卒業生 123名中 114名、来賓 14名、保護者・家族 58名)

